

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学 科 または コー ス	履 修
家 庭	子どもの発達と保育	2	3	全学科	選 択

(1) 科目のねらい

科 目 の ね ら い	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育等に関する知識と技術の習得を目指す。豊かな愛情と人間性を持ち、自立した人間として成長し、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。
使用教材など	子どもの発達と保育（実教出版）

(2) 年間予定

期	月	時 数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4	2 2	1. 子どもの発達の特徴 ○発達と乳幼児期の意義 ○発達と保育環境 ○児童観と発達観 ◎造形表現技術（折り紙と場面構成） ◎言語表現技術（絵本読み聞かせの効果・方法） 作品制作（折り紙・描画） 絵本・紙芝居読み聞かせ実習	*教育・保育内容における5つの領域 *保育の意義と重要性、乳幼児期の特徴 *保育環境を整える *こんにちの児童観・発達観 ◎保育技術検定3・4級受験内容 *植物、動物、魚、鳥、その他のテーマの折り方を覚える。それぞれのテーマで描画を加えた場面構成を考える *読み方、表現方法を考えながら読む *子どもの年齢による特徴、望ましい服装や態度、子どもとの関わり方、保育士の役割
	5 6 7		2. 子どもの発達の過程 ○子どもの発育 ○子どもの精神発達 ○人間関係の発達	*胎児の発育・発達 *乳幼児の特徴 *運動機能、知的、言葉、情緒の発達 *愛着関係、人間関係、人格形成
二 学 期	8 9 10 11	2 8	3. 子どもの生活 ○生活と擁護 ・進学対策学習：子どもの育ちの現状 ○子どもの遊び ・進学対策学習：小1プロブレム ○生活習慣の形成 ○健康管理と事故防止 4. 子どもの保育 ○保育の意義と重要性 ○家庭保育と集団保育 ・進学対策学習：集団保育の種類と特徴 ○保育の方法 ・進学対策学習：子どもや家庭を取り巻く状況	*生活と健康・栄養と食事、食習慣 衣生活と育児用品 *生活と遊び、遊びの援助、年中行事 *基本的・社会的な生活習慣 *日常の健康管理、病気、事故 *保育者の役割、指導のポイント *人間形成と保育 *保育者の役割
	12			*意義、家庭保育の機能の低下、課題 *指導のポイント
三 学 期	1	4	5. 子どもの福祉 ○子どもの福祉 ○子育て支援 *子どものおやつ作り	*児童福祉 *児童虐待 *年齢を考慮した栄養価、味、量

(3) 評価の観点

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技 能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 調理計画、制作計画、 実習記録表、レポート、 発表、自己評価等	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 調理計画、制作計画、 実習記録表、制作品、 レポート、発表、定期 考査の結果、自己評価 等	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 調理品、制作品、レポ ート、発表、定期考 査・実技テストの結果、 自己評価等	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 調理計画、制作計画、 実習記録表、レポート、 発表、定期考査・実技 テストの結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	100点のテストを70点に換算します。テストで35点以上取りましょう。	70点
②ノート・プリント・課題の提出	・授業プリントを回収したり、点検したりします。抜けている所の無いように、授業でしっかりプリントを記入しましょう。 ・プリントは無くならないうちに、ファイルに綴じておきましょう（ファイルは学校が準備します）。 ・課題を出されたら、忘れずに取り組み、提出しましょう。	20点
③授業・実習への関心・意欲・態度	・授業、実習に熱心に取り組みましょう。 ・製作物は提出できるように、頑張って作りましょう。	10点